

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月18日

上場取引所 東

上場会社名 アルインコ株式会社

コード番号 5933

URL <https://www.alinco.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小山 勝弘

問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)小林 宣夫 (TEL)06-7636-2222

四半期報告書提出予定日 2019年11月1日 配当支払開始予定日 2019年11月21日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年3月21日～2019年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	28,399	8.4	2,020	47.8	2,151	29.7	1,303	31.2
2019年3月期第2四半期	26,195	7.4	1,367	△5.4	1,659	△4.5	993	△3.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,373百万円 (44.0%) 2019年3月期第2四半期 954百万円 (3.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	EBITDA	
	円 銭	円 銭	百万円	%
2020年3月期第2四半期	65 77	—	3,875	18.5
2019年3月期第2四半期	48 43	—	3,270	4.1

(注) EBITDA=経常利益+減価償却費+のれん償却額

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	55,950	27,374	47.3	1,335 91
2019年3月期	53,940	26,359	47.4	1,290 61

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 26,488百万円 2019年3月期 25,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	18 00	—	19 00	37 00
2020年3月期	—	19 00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	19 00	38 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年3月21日～2020年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,380	6.5	3,590	22.9	3,770	14.0	2,250	19.0	113 57

(参考) EBITDA 2020年3月期予想: 7,613百万円 (10.1%)

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績予想の修正については、2019年10月4日に公表いたしました「2020年3月期第2四半期累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	21,039,326株	2019年3月期	21,039,326株
2020年3月期2Q	1,211,416株	2019年3月期	1,228,481株
2020年3月期2Q	19,815,721株	2019年3月期2Q	20,510,846株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	3
（3）連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
（3）継続企業の前提に関する注記	9
（4）追加情報	9
（5）セグメント情報等	9
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速による外需の低迷で製造業が減速していることを示す指標が続き、景気の先行きには不透明感が増えています。

当社グループの主な関連業界である建設及び住宅関連業界におきましては、2020年に迫った東京オリンピック・パラリンピック関連の建設工事が終盤に差し掛かるなか、老朽化した社会インフラの改修・整備や首都圏並びに主要都市における再開発案件をはじめとして、引き続き堅調な建設需要が継続する見通しです。

このような状況のなか、売上高は前年同期比8.4%増の283億99百万円となりました。利益面では、売上高の増加によって、営業利益は前年同期比47.8%増の20億20百万円、経常利益は前年同期比29.7%増の21億51百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比31.2%増の13億3百万円となりました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

セグメントの名称	売上高		セグメント利益又は損失(△)	
	金額(百万円)	前年同期比(%)	金額(百万円)	前年同期比(%)
建設機材関連事業	10,386	11.3	1,350	17.6
レンタル関連事業	8,780	2.6	500	187.3
住宅機器関連事業	7,543	13.1	188	18.8
電子機器関連事業	1,689	3.2	△28	—
報告セグメント計	28,399	8.4	2,010	39.2
調整額	—	—	141	—
四半期連結損益計算書計上額	28,399	8.4	2,151	29.7

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない持分法による投資利益、為替差損益や支払利息などの営業外収益及び営業外費用であります。

建設機材関連事業

当事業の売上高は、前年同期比11.3%増の103億86百万円となりました。建設用仮設機材の販売が新型足場「アルバトロス」や高速道路補修工事向けの「SKパネル」を中心に広範なジャンルにわたって増加しました。また、子会社の双福鋼器株の売上高も物流倉庫向けラックの販売が好調に推移しました。

損益面では、売上高の増加によって、セグメント利益は前年同期比17.6%増の13億50百万円となりました。

レンタル関連事業

当事業の売上高は、前年同期比2.6%増の87億80百万円となりました。低層向けレンタルにおいてここ数年注力してきた非住宅分野での売上高が拡大するとともに、中高層用レンタルにおいては新型足場「アルバトロス」を中心に期初から高稼働が継続しました。

損益面では、レンタル資産の稼働率が期初から好調に推移したことなどから、セグメント利益は前期比187.3%増の5億円となりました。

住宅機器関連事業

当事業の売上高は、前年同期比13.1%増の75億43百万円となりました。子会社化した昭和ブリッジ販売㈱の売上高が業績に寄与したほか、アルミ製脚立の新製品「GAUDI」の好調な販売や、㈱シップの高所作業台の販売が伸びたことによって、機械工具ルート向けの売上高が増加しました。また、フィットネス機器については、マッサージ関連の新商品が量販店や家電販売店を中心に好調であったほか、電動ランナーやジョギングマシンが通販やネット販売で好調に推移しました。

損益面では、売上高の増加によって、セグメント利益は前期比18.8%増の1億88百万円となりました。

電子機器関連事業

当事業の売上高は、前年同期比3.2%増の16億89百万円となりました。業務用無線機や防災行政無線の拡販が進むとともに、当期に繰り延べとなっていた防災行政無線の受注案件は当第3四半期から納入が開始される見込みとなりました。

損益面では、売上高の増加によって、セグメント損失は前年同期比8百万円改善して28百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は559億50百万円となり、前期末に比べ20億10百万円増加しました。総資産の内訳は、流動資産が329億27百万円（前期末比17億89百万円増）、固定資産が230億22百万円（前期末比2億20百万円増）であります。総資産の主な増加要因は、流動資産において売掛金やたな卸資産が増加したほか、固定資産においてレンタル資産や長期貸付金が増加したためであります。

負債は、285億76百万円となり、前期末に比べ9億95百万円増加しました。その内訳は、流動負債が170億89百万円（前期末比9億66百万円増）、固定負債が114億86百万円（前期末比29百万円増）であります。負債の主な増加要因は、買掛金と借入金の増加であります。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益が13億3百万円となったことや、剰余金の配当を3億76百万円実施したことなどにより、273億74百万円（前期末比10億14百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当第2四半期における業績の進捗等を勘案し、2019年5月8日に公表いたしました通期の連結業績予想を下表のとおり修正いたしました。

詳細につきましては、2019年10月4日に公表いたしました「2020年3月期第2四半期累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	56,700	3,120	3,350	1,990	100.45
今回予想値 (B)	57,380	3,590	3,770	2,250	113.57
増減額 (B-A)	680	470	420	260	—
増減率 (%)	1.2	15.1	12.5	13.1	—
(ご参考)前期実績	53,862	2,920	3,306	1,891	93.41

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,379,347	4,974,453
受取手形及び売掛金	15,848,616	16,719,066
商品及び製品	7,027,023	7,340,983
仕掛品	1,062,049	1,010,206
原材料	2,047,987	2,173,468
その他	788,512	727,820
貸倒引当金	△15,727	△18,246
流動資産合計	31,137,809	32,927,752
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産	24,674,029	25,467,230
減価償却累計額	△19,940,274	△20,603,652
減損損失累計額	△112,774	△117,127
レンタル資産（純額）	4,620,980	4,746,449
建物及び構築物	10,932,055	11,013,539
減価償却累計額	△6,829,489	△7,020,705
建物及び構築物（純額）	4,102,566	3,992,834
機械装置及び運搬具	4,773,642	4,871,336
減価償却累計額	△3,478,591	△3,623,166
機械装置及び運搬具（純額）	1,295,051	1,248,169
土地	4,852,800	4,862,014
その他	3,458,614	3,465,984
減価償却累計額	△3,109,692	△3,095,052
減損損失累計額	△27,825	△27,825
その他（純額）	321,097	343,106
有形固定資産合計	15,192,495	15,192,573
無形固定資産		
のれん	1,208,357	1,072,758
その他	174,028	191,649
無形固定資産合計	1,382,386	1,264,408
投資その他の資産		
投資有価証券	2,164,737	2,110,095
長期貸付金	824,127	1,198,436
退職給付に係る資産	2,076,566	2,113,075
繰延税金資産	185,142	167,947
その他	980,082	983,198
貸倒引当金	△3,150	△6,868
投資その他の資産合計	6,227,506	6,565,884
固定資産合計	22,802,387	23,022,866
資産合計	53,940,197	55,950,618

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,225,439	8,834,176
短期借入金	554,150	792,450
1年内返済予定の長期借入金	4,435,642	4,536,142
未払法人税等	757,785	762,346
賞与引当金	684,794	699,299
その他	1,465,427	1,465,157
流動負債合計	16,123,240	17,089,572
固定負債		
長期借入金	10,238,526	10,303,330
退職給付に係る負債	200,810	190,699
役員退職慰労引当金	186,336	186,336
繰延税金負債	438,483	431,073
その他	393,378	375,268
固定負債合計	11,457,535	11,486,708
負債合計	27,580,775	28,576,280
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,361,596	6,361,596
資本剰余金	4,812,424	4,817,366
利益剰余金	14,704,990	15,631,819
自己株式	△909,615	△896,979
株主資本合計	24,969,396	25,913,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	328,887	287,912
繰延ヘッジ損益	13,078	23,520
為替換算調整勘定	214,786	245,743
退職給付に係る調整累計額	41,871	17,244
その他の包括利益累計額合計	598,623	574,420
非支配株主持分	791,401	886,114
純資産合計	26,359,422	27,374,337
負債純資産合計	53,940,197	55,950,618

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月21日 至2018年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月21日 至2019年9月20日)
売上高	26,195,343	28,399,164
売上原価	19,063,916	20,392,442
売上総利益	7,131,427	8,006,722
販売費及び一般管理費	5,764,338	5,986,509
営業利益	1,367,088	2,020,212
営業外収益		
受取利息	8,595	13,361
受取配当金	73,421	73,750
受取地代家賃	30,253	29,165
為替差益	88,802	-
作業屑等売却益	92,943	64,206
持分法による投資利益	-	8,651
その他	61,378	50,718
営業外収益合計	355,393	239,853
営業外費用		
支払利息	23,571	24,920
支払地代家賃	12,230	12,230
為替差損	-	58,193
持分法による投資損失	18,571	-
その他	8,947	13,204
営業外費用合計	63,320	108,547
経常利益	1,659,161	2,151,517
特別利益		
有形固定資産売却益	1,463	2,424
投資有価証券売却益	960	-
特別利益合計	2,423	2,424
特別損失		
有形固定資産除売却損	1,397	1,971
災害による損失	19,027	-
特別損失合計	20,425	1,971
税金等調整前四半期純利益	1,641,160	2,151,971
法人税、住民税及び事業税	590,670	717,348
法人税等調整額	△12,371	31,515
法人税等合計	578,298	748,864
四半期純利益	1,062,862	1,403,107
非支配株主に帰属する四半期純利益	69,522	99,872
親会社株主に帰属する四半期純利益	993,339	1,303,234

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年9月20日)
四半期純利益	1,062,862	1,403,107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47,336	△40,975
繰延ヘッジ損益	166,152	10,442
為替換算調整勘定	△205,163	25,797
退職給付に係る調整額	△34,852	△24,627
持分法適用会社に対する持分相当額	12,571	-
その他の包括利益合計	△108,627	△29,362
四半期包括利益	954,234	1,373,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	880,510	1,279,030
非支配株主に係る四半期包括利益	73,723	94,713

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年3月21日 至 2018年9月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額
	建設機材 関連事業	レンタル 関連事業	住宅機器 関連事業	電子機器 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,333,885	8,555,463	6,668,387	1,637,607	26,195,343	—	26,195,343
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,602,920	6,285	123,176	12,340	1,744,723	△1,744,723	—
計	10,936,805	8,561,749	6,791,563	1,649,947	27,940,066	△1,744,723	26,195,343
セグメント利益又は損失（△）	1,148,468	174,185	158,481	△37,119	1,444,015	215,146	1,659,161

（注）1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額215,146千円は全社損益であります。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない持分法による投資損失、為替差損益や支払利息などの営業外収益及び営業外費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年3月21日 至 2019年9月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額
	建設機材 関連事業	レンタル 関連事業	住宅機器 関連事業	電子機器 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,386,511	8,780,042	7,543,016	1,689,593	28,399,164	—	28,399,164
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,438,077	1,810	73,930	13,400	1,527,218	△1,527,218	—
計	11,824,588	8,781,853	7,616,947	1,702,993	29,926,383	△1,527,218	28,399,164
セグメント利益又は損失（△）	1,350,148	500,488	188,340	△28,630	2,010,347	141,170	2,151,517

（注）1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額141,170千円は全社損益であります。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない持分法による投資利益、為替差損益や支払利息などの営業外収益及び営業外費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。